

かるがも便り 第12号

(冬期号)

かるがもの利用状況	
登録者数	137名
利用者数	163名
平成31年1月31日現在	

※利用者数は、年度累計数



寒さは厳しくなり、空気の乾燥にも一層気を付けていきたい季節です。年明けから、インフルエンザの利用者が増えると予測していましたが、今年はゆっくりじわじわという印象でした。1月の中旬あたりから、一気に流行が加速しました。罹患すると、高熱やその他の風邪症状に伴い、身体の節々の痛み、食欲低下など、個人差はありますが、とてもつらいです。予防接種の他に、日頃からマスク着用、手洗い、うがい、不要な外出は避けるなどして、予防対策を心掛けましょう。

※かるがも病児保育室では、インフルエンザ罹患後（投与開始）2日めから、お子さんをお預かりします。



□どんな病気？～病気のおさらい□

「りんご病(伝染性紅斑)」

ほっぺがりんごのように赤くなり、太ももや腕には赤い斑点やまだら模様ができます。頬がほてったり少しかゆくなることもあります。熱は出ません。治療は・・・自然に治りますが、かゆみが強いときはかゆみ止めが処方されます。



◇家庭で気を付けること・・・

- ①食べ物は普段通りで大丈夫です。
- ②入浴は大丈夫ですが、熱い風呂に長く入ると赤みが強くなって長引くことがあるので、短時間で上がりましょう。
- ③運動は体が熱くなったり、日光に長くあたると、赤みが長引くので、控えましょう。



かゆみが強くなった
高熱が出た
元気がなくなったなどの場合は
もう一度受診をおすすめします

◇登園・登校は頬が赤くなったときは、すでに感染の時期は過ぎているので、行っても大丈夫です。



《お知らせ》

小児科医 土肥望先生が、3月上旬から産休にはいります。
代わりに小児科医 田中 健(たけし)先生が診察いたします。
小児科医不在の日は、引き続き内科医が対応致しますので、よろしくお願いします。

